

# 報告書抄録

ふりがな	いなりちょういせき							
書名	稲荷町遺跡							
副書名	第37次調査 宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書							
編集者名	菊地 幸裕・鈴木 俊輝							
編集機関	盛岡市遺跡の学び館							
所在地	〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋 13-1 電話 019-635-6600							
発行機関	盛岡市教育委員会・積水ハウス不動産東北株式会社							
発行年月日	2021年6月30日							
ふりがな 所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
いなりちょういせき 稲荷町遺跡 (第37次)	いわてけん もりおかし おおだて 岩手県盛岡市大館 ちょう 町 126-1,127-1 外	03201	LE06-2010	39° 42' 40"	141° 06' 35"	20200907 ～ 1106	1,441	宅地造成
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
稲荷町遺跡 (第37次)	集落跡	縄文時代 中世 古代以降	陥し穴状土坑 2 基 堀跡 1 条 土坑 10 基, 柱穴状ピット		縄文土器 近世陶磁器 コンテナ 1/2 箱			
要約	<p>本遺跡は、12世紀の居館跡を主体とする遺跡である。</p> <p>今次調査では、縄文時代の陥し穴状土坑、中世の堀跡等が確認された。堀跡は、遺跡の縁辺を巡るもので、従前の調査で確認された部分の延長にあたる。遺跡中央部に掘立柱建物群を形成し、その外周に堀を巡らせている構造が判明した。</p>							